

第5学年 国語科 学習指導案

日時 令和5年11月24日(金) 5校時
児童 5年生 10名
授業者 猪又 大平

- 1 単元名 資料を用いた文章の効果を考え、釜石のこれからについて書こう
教材名 「固有種が教えてくれること」「統計資料の読み方」「グラフや表を用いて書こう」
(光村図書 5年)
- 2 単元の目標
 - (1) 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2) A
 - (2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) E
 - (3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) U
 - (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 教材について

本教材「固有種が教えてくれること」は、地図、表、写真、グラフといった多様な資料を提示しながら筆者が主張を展開している双括型の説明的な文章である。筆者は、固有種が日本の豊かで多様な自然環境の素晴らしさを伝えてくれる存在であることを、さまざまな文章上の工夫を通して伝えようとしている。図版と文章との対応を読み取ったり、それらの資料の効果を考えたりすることについて学習させるのに適した題材である。また、「グラフや表を用いて書こう」の学習では、本教材で学んだことをもとに、これからの社会について自分の考えを書く活動にいかすことができる。

(2) 児童の実態について

5年生の児童はこれまでに、論の展開の仕方に着目したり、筆者の主張を捉えたりすることで説明文の内容の大体のつかみ方を理解してきている。本学級の児童は、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることに苦手意識を感じている。そこで、一つ一つの資料の意味や効果を、本文と対応させることで、資料があることによって文章の内容がより分かりやすくなっていることを実感させたい。

(3) 指導の工夫(研究に関わって)

「読む力」…文章を正確に読み、叙述に即して内容を正確に理解し、読み取ったことをもとに自分の考えを広げる力

視点1 単元の構想

- (1) 本単元のゴール
 - 文章と図表やグラフ、写真を結び付けて読み、筆者の論の進め方について考えることができる。
 - 目的に合ったグラフや表を用いて、自分の考えを文章に書くことができる。
- (2) 言語活動の明確化
 - これからの釜石市に関することについて自分が興味をもったテーマを選び、意見文を書く。その際、テーマに合った表やグラフを意見文の中に用いて書くようにする。書いた意見文は地域に発信する。

視点2 学習指導の工夫

- 手立て① 課題解決のための学習活動や発問
課題解決の見通しをもたせる際に、本時の課題を解決するための見方や考え方を全体で確認する。
- 手立て② 考えを共有するための話し合い
自分の考えを話すだけでなく、なぜそのように考えたか、そう思ったか、根拠をもって伝えられるように、既習内容や掲示物を活用したり、発問の仕方を工夫したりする。
- 手立て③ 学びを自覚するための振り返り
資料を用いて説明することの良さについて分かったことやこれから活かしたいことを振り返らせる。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方について理解している。(2)ア	① 「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ ② 「読むこと」において目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つめたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ	・粘り強く文章と図表を結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

5 学習指導計画(12時間)

学習過程	時	主な学習活動	評価規準
見通し	1	○資料を用いた文章の効果を考え、釜石のこれからのことについての意見文を書くという学習の見通しをもつ。 ○「固有種が教えてくれること」の範読を聞き、初発の感想を交流する。	【知】情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方について理解している。 [発言]
	2	○文章を「初め」「中」「終わり」に整理する。 ○各まとまりに小見出しを付ける。	
	3	○「固有種が教えてくれること」の要旨を把握する。	
精査・解釈	4	○文章と資料を結び付けて読み、その効果を考える。	【思②】文章と図表などを結び付けて読んだり、資料の効果を考えたりしている。 [発言・ワークシート]
	5(本時)		
考えの形成と共有	6	○筆者の考えなどについて、自分の考えをまとめる ○資料を使った本を読んで資料の内容や使われ方を確かめる。	【思①】図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 [ワークシート] 【知】情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方について理解している。 [ワークシート] 【態】粘り強く文章と図表を結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書こうとしている。 [ワークシート]
	7	○統計資料の読み方を理解し、自分が興味をもった文章や資料を読むときに生かす。	
	8	○これからの釜石について自分の考えをもち、適切なグラフや表を選ぶ。	
	9	○資料からわかる事実とそこから考えたことを書き出し、文章構成を考える。	
	10	○図表やグラフを用いて、考えが伝わるように書き表し方を工夫し、下書きをまとめる。	
	11	○下書きを推敲し、文章を完成させる。	
	12	○完成した文章を読み合い、良いところを伝え合う。	

6 本時の指導 (5/12)

(1) 目標

文章と図表などを結び付けて読んだり、資料の効果を考えたりすることができる。

(2) 評価規準

写真やグラフなどの資料の効果的な使われ方について考えている。

ねらいを達成している児童の姿 ・見取りのポイント	ねらいを達成していない児童への支援
写真やグラフなどの資料の効果について考えている。 ・「分かりやすい」「説得力がある」などの箇条書きのような記述。	資料5や資料6, 7の効果を想起させるような発問を個別に行ったり、資料の効果を考える上で着目させたい語句に線を引いたりする。

(3) 展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◎評価
導入 (7分)	1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールを確認する。 本時では、写真やグラフを用いることには、どのような効果があるかを考えていくことを確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。	
	<p>㊦なぜ筆者は、資料を用いて説明しているのだろうか。</p>	3 課題解決の見通しを持つ。
展開 (30分)	4 課題を解決する。 ○資料5の効果を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が資料5を用いた理由や、筆者が資料を通して伝えたいことを考えさせる。 資料の効果への理解を深めさせるために、写真をイラストに置き換えて別の資料だったと仮定して考えさせる。(手立て②) 二つの資料を組み合わせて使った理由やその資料から何を伝えたいのかを考えさせる。 資料6, 資料7それぞれから読み取れることと二つのグラフを組み合わせることとを区別して考えさせることで二つのグラフを組み合わせて用いることの良さに気付けるようにする。(手立て②) 今まで学習したことを想起させながら、資料を使って説明することの良さを考えさせる。
	○資料6, 7の効果を読み取る。	
	○資料の効果について考える。	<p>◎【思】写真やグラフなどの資料の効果的な使われ方について考えている。 C (1) ウ [発言・ワークシート]</p>
	5 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを手掛かりに自分の言葉でまとめさせる。
	<p>㊧筆者は、意見に説得力をもたせるために、資料を用いて説明している。</p>	
終末 (8分)	6 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を用いて説明することの良さについてわかったことや本時の学習をこれからどのように活かしていきたいかについて、発表させる。(手立て③) 筆者の考えに対しての自分の考えをまとめることを確認する。
	7 次時の学習を確認する。	

(4) 板書計画

<p>固有種が教えてくれること</p> <p>今泉 忠明</p> <p>■なぜ筆者は、資料を用いて説明しているのだろうか。</p>	<p>【資料の効果を読み取る際の視点】</p> <ul style="list-style-type: none">・なぜ筆者がこの資料を用いて説明しているのか・その資料を用いて説明することの良さ・筆者が資料を通して読者に伝えたいこと	<p>資料の効果を考えるワークシートの拡大</p>	<p>【資料の効果】</p> <ul style="list-style-type: none">・意見に説得力・主張が分かりやすくなる・言いたいことを具体的に伝えられる <p>④筆者は、意見に説得力をもたせるために、資料を用いて説明している。</p>
---	---	---------------------------	--

7 考察

【成果】

- ・「釜石のこれからについて自分の考えを書く」という言語活動にしたことによって、自分事として学習を進めることができた。
- ・「固有種が教えてくれること」で学習したグラフの読み取りや2つのグラフを用いることの効果を「グラフや表を用いて書こう」の活動につなげることができた。

【課題】

- ・筆者が資料を用いる効果として「自分の考えに説得力をもたせるため」や「自分の考えをわかりやすくするため」のように児童とまとめたが、「説得力」や「わかりやすい」などの言葉の意味を子供たちと共有する必要があるがあった。
- ・他者に自分の意見を話すだけのグループ活動となってしまった。スモールステップで話し合いの質を高めていければよかった。